



【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	50	0	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	0	15	0	0	15	30
	思考・推論・創造する力	0	15	0	0	15	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	10	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	第 8 回目の講義の際に提出するレポート課題で評価する。特に、本講義を通した研究に関するレポート課題について、論理的かつ自分の考えや意見を述べているかなどが評価のポイントになる (50 点満点)。			レポートの添削、返却	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	講義時に提示する課題で評価する。特に、本講義を通した研究に関する内容について、論理的かつ自分の意見や考えを述べているかなどが評価のポイントになる (50 点満点)。			課題の添削、返却	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	志茂聡は、解剖学で博士号 (医学、山梨大学) を取得しており、本学 (専任教員) および山梨大学医学部解剖学講座構造生物学教室 (非常勤講師 令和 4 年現在) にて長年解剖学の教育に携わってきた解剖学教育の専門家である。作業療法士免許を有し、実務経験は 10 年である。						
実践的授業の内容	グループワークを中心にデータの収集方法、学術的な文章の書き方、発表の仕方を実践する。						
そ の 他	フィードバック、意見交換の機会は授業時間内に実施する。 学生の理解度に応じて授業計画を変更することがある。 大学の感染状況に基づいて対面授業を行う。感染状況によってはシラバスの内容を変更する場合がある。						